

## リンボウ寸言 『美味佳肴の幸うところ』

林 望

わが『083』も、つつがなく第6号を世に送ることになった。今回は、呑み助の諸賢には、またとない特集である。実は、私自身は、まるっきりの酔乎たる下戸ゆえ、酒の味も酒場の楽しさも一向に理解しない野暮天であるが、しかし、それにしても、この下関というところは河豚ばかりでない、いわゆる山海の美味豊かなる土地、食いしん坊の金城湯池というお国柄である。酒を好まれる方はもとより、下戸の方々も、これらの美味佳肴を味わうためだけでも、ここに足を運ばれる価値がある。

### アンケート

『083』は今これを手に取られたあなたのための情報誌です。つねに深い眼差しを心がけて、皆さまの役に立つ情報を、ワンテーマ方式で下関市から発信してまいります。第6号についてのご感想、及び今後特集してほしいテーマやとっておきのお知らせなどを、綴じ込みハガキでお寄せください。

## 083 ゼロ ハチ サン うみ やま たいよう VOL.6

2010年3月1日発行

編集人＝福田章

ディレクター＝大野金策

アート・ディレクター＝宮崎陽子

写真＝橋野栄二

編集委員＝林 望

発行＝下関市

〒750-8521 山口県下関市南部町1番1号

☎083-231-2951（総合政策部広報広聴課）

制作統括＝（株）電通九州

印刷＝凸版印刷（株）

協力＝下関市の皆さん

アドバイザー＝下関フィルム・コミッション

常任委員長 雷永洋一

九州芸術学館山口校

代表 伊東丈年

○バックナンバーのご希望は、下関市までお問い合わせを。創刊号、第2号、第3号は在庫切れです。

☎083-231-2951（総合政策部広報広聴課）

○下関市ホームページからも電子ブックで『083』が読めます。

<http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/083/>

本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

### 次号予告

## 龍馬とお龍が暮らした街



### 編集後記

前号までの『083』は、副題の「うみ やま たいよう」に象徴される鮮やかな青・緑・赤の色をふんだんに散りばめた誌面で、下関の魅力を発信してきました。しかし、今号にはこの三色は皆無と言っていいほど。鈍く光る夜の光もまた、我が街の違った一面を照らし出してくれました。たくさんの色を混ぜれば混ざるほど濃くなる絵の具のように、酒場から漏れる光には下関のいろんな色が混じっているのです。（Y）

毎年11月23日は、JR下関駅前の商店街「グリーンモール」で「リトル釜山フェスタ」が開かれる。海峡を挟んだ隣の路地が飛び移ってきたかのように、通りに露天の店がにぎやかに出店し、あたりは異国の匂いに包まれる。そんなお祭りの最中、チヂミを肴に缶ビールを飲み、気ままに路地を徘徊するうち、ここにも、あ、またここにも、と立ち飲みの店を発見。なんということか、酒場特集でロケハンを重ねたはずなのに、基本の店を見逃していた。酔わなくては仕事にならないが、酔いすぎたのはまずかった。悔しいな。しかし、これもまた下関の深さかもしれない、とほろ酔いで気づいた次第です。（O）

創刊号の編集後記に、「（下関には）風情と活気のある居酒屋が点在しているのも気に入りました」と書きました。足かけ3年通いつめて、その思いはますます深くなり、今回の特集に発展。胃薬を友に、何日も滞在しながら夜だけ活動し、五木寛之『海峡物語』の「演歌の竜」（古い!）のような気分です。まだまだ掲載しきれなかった魅力的な店がたくさんあります。やはりお店は、「人」の魅力が大きいようです。惹きつけるオーナーと引き立ててあうお客。刹那、そこにはコンパクトな宇宙が形成されています。下関の宇宙は、心地よく酔いが回るのです。（F）

### 下関の情報を航空機内で 本誌『083(ゼロハチサン)』を配布



本誌『083』の配布が、北九州空港と東京羽田空港を結ぶスターフライヤー便の機内で本年1月から始まりました。

北九州空港を発着する航空便は、東京便が3社で1日15往復と、国内定期路線では最も朝早く飛び立ち、最も夜遅く終着をむかえる路線として関門・北九州地域の観光、ビジネスの足となっています。

また、下関市内から北九州空港までは、連絡バスや乗合いタクシーが運行されており、関東方面から下関市を訪れる観光客やビジネス客にとってその利便性が高まっています。

龍馬ゆかりの地として観光に力を入れる下関市では、自然、歴史、文化をはじめとするすばらしい地域資源をひとりでも多くの方に知っていただくため、(株)スターフライヤーの協力を得て、同社の北九州・東京羽田線の機内で本誌『083』を乗客に配布することとなり、本年1月からスタートしました。

『083』は北九州市発行の情報誌『雲のうえ』とあわせて、キャビンアテンダントの笑顔とともに配布され、下関市を訪れる観光客、ビジネス客に大変喜ばれています。